



United Business Associations
全国中小企業青年中央会

aug.2021

Vol.23

Take over

UBA NEWS



Contents

1. 通常総会のご報告
2. 全国講習会in群馬のご報告
3. 全国青年友好4団体トップ会議のご報告

2021年通常総会のご報告

2021年度通常総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、参加者の安全を考慮し、予定されていた愛知県での全国総会を変更。6月18日(金)、千葉県電工会館の会議室からオンライン配信という形で開催されました。当日は、全国都道府県UBAの代表者、並びに

最後に、このオンライン総会に対し配信会場をご提供くださいました、千葉県電気工事工業組合様に心より感謝申し上げます。



全国UBA役員がオンラインミーティングシステム「Zoom」に設定された総会用会議室に参集し総会を進行しました。決議事項は以下の通りで、下記の議案全てが可決、承認されましたのでご報告致します。

1. 2020年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書及び剰余金処分案について
2. 2021年度事業計画及び収支予算について
3. 2021年度会費の額及びその徴収方法

総会はオンライン会議でありがちな参加者全員のカメラ映像を画面に映すものではなく、議案内容や議案説明者を画面に映すなど、様々な演出を取り入れ配信されましたが、大きな混乱もなく、スムーズに進行し無事修了することができました。

UBAサミット

2021年度通常総会終了後、UBAサミットを行いました。

昨年度に各都道府県代表者の皆様に実施させていただきましたアンケートをもとに、現在、様々な業界で大きな問題とされている「人材確保」について勉強及び意見交換を行いました。

意見交換会で活発な意見交換が行えるように、「成功事例発表（6件）」と「意見交換会」の2部構成で行いました。

- 1部の「成功事例発表」では
- 「工業高校との積極的な繋がりによる人材確保」（北海道 安藤会長）
 - 「音楽系技術学校との繋がりによる人材確保」（福岡県 松田会長）
 - 「ハローワークの活用及び地元への貢献を通じた採用活動」（山口県 河井会長）
 - 「助成金を利用した有料求人サービスの活用及び組合での求人サイトの立ち上げによる求人活動」（岩手県 松田会長）

「業界専門求人サイトの立ち上げ及び活用による求人活動」（新潟県 林会長）

「障害者雇用」（UBA 伊藤理事）

と題して、それぞれの成功事例等を発表頂きました。

第2部では各都道府県代表者の皆様を6つのチームに分けて、第1部での成功事例等を踏まえたうえで、自社及び自社の属する業界での人材確保の現状そして悩み等を議論して頂き、情報共有をして頂きました。

今回のUBAサミットは新型コロナ禍の影響でオンライン開催となり、各都道府県代表の皆様が対面で向かい合っただけの熱い議論を交わすことは出来ませんでした。オンラインでも、様々な情報共有そして議論が出来ることになり、収穫の多いUBAサミットとなりました。11月に開催予定の大分県全国講習会では、「人材育成 ～せっかく採用した人材（財）を退職させないためには～」をテーマに議論を交わさせていただきます。皆様皆様と熱い議論を交わすことを楽しみにしています。

グループディスカッションの様子

UBAサミットの後に行われた、グループディスカッションでは各県の会長が約8名のグループに分かれ、UBAサミットの発表事例をもとに意見交換が行われました。

昨今の人材不足をテーマに話が進み、各々の会社や組合として取り組んでいることが報告され、まとめさせていただいたのが、以下の通りとなります。

【愛媛県】 以前は大学生と企業のトップが交流を行う（ひめとーく）を行っていたが、もう少し若い世代（高校生）にも、愛媛県の中小企業を知ってもらい取り組みを進めている。

【滋賀県】 運送業の場合、就職の際に資格が必要のため、まずはそのハードルを超えてもらう

かがポイントとなっており、企業もその補助を出すように努力はしているが、金額が高いため頭を悩ませている。

【大分県】 ハローワークに募集をかけているが、なかなか人材が集まらないので、高校に直接行って魅力を伝えることを行なっている。

【神奈川県】 事例発表であった、新潟のポータルサイトには驚きました。素晴らしい取り組みなので組合で予算が取れば、ぜひ取り組んでみたい。

【青森県】 看板業を行なっているが、組合も個人経営が多い中、横のつながりは強い。

組合としてカーラッピングの講習会などを開いている。看板業の魅力を、子供達にも伝えたいので、今後、そういう機会づくりを作りたい。

【大分県事務局】 最近の若い世代が、ハローワーク離れしておりネットを使う人が多い。ホームページを使った戦略が必要だと思っています。

いずれの県も厳しい状況下の中で、若い世代へのアプローチを考えられている傾向がありました。

中小企業の弱みである認知度をいかに上げていくかが、最優先課題なのかもしれません。

コロナ禍の影響は経済をも蝕み、その影響で企業にも人材不足という荒波を起しました。

まだまだ、その他にも企業に影響を与えていく新型コロナウィルスと、我々中小企業の経営者はどう戦っていくか。今後もUBAの仲間たちと情報交換を行なっていき乗り越えたいと思います。

2021年度組合青年部全国講習会のご報告

第一部 UBAサミット



去る、2020年2月26日(金)、UBAサミットが2020年度組合青年部全国講習会と同様、オンライン上 (Zoom) で開催されました。今回のテーマは「青年部活動を止めるな ～いまさら? いいえ、いまずぐ始められるオンラインを利用した活動～」と題して、オンラインを利用した活動のすすめについて、この報告を書いている私 (戸島) がお話しさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、只々活動を休止するだけの状況で、全国各地の青年部や都道府県UBAで苦しんでいる状況を耳にすることが多くなりました。そこで比較的早い段階でオンラインツールを活用し始めた私が自身の経験をもとにオンラインツールや設備、オンラインでの事業についてお話しさせていただいたわけです。



このサミットが多くの団体でコロナ渦でも活動し続けていけるきっかけになれば幸いです。もしオンライン活用でお困りのことがあれば、全国UBA戸島までご連絡下さい。

第二部 全国講習会

UBAサミット終了後、全国講習会が株式会社 minitts 代表取締役 中村朱美氏を講師に迎え、開催されました。中村氏は「逆境に負けない強い中小企業の在り方～ with コロナ after コロナの時代に向けて～」と題して講演を行いました。中村氏は自身の経営する「佰食屋」の経験をとおして、逆境に負けない強い中小企業の在り方について、お話しいただきました。

中村氏の「佰食屋」では、1日100食に「制約」して提供することで、低賃金や長時間労働、休みが取れないなどの飲食業界の常識を打ち破って、従業員の新しい働く形を提案してきました。また、コロナ禍の困難に直面してる中でも、「ピンチをチャンスに変えよ!」と新しい提案を行っています。当日は、中村氏の経営方針や実践している新しい働き方について、聴きながら、これからの時代を生き抜くための経営や持続可能な働き方について、考える時間を共有しました。



全国青年友好4団体トップ会議報告

全国青年友好団体トップ会談



2021年7月20日に全国青年友好4団体トップ会議が大久保会長の地元である北海道旭川市において開催されました。本会からは大久保会長をはじめ計7名が参加しました。

コロナ禍における開催となり、参加者は新型コロナウイルスのPCR検査を事前に受けた中で参加していただき、さらに、会場においても手指消毒や換気などの感染対策を行いながらの開催となりました。

会議においては、各団体から実施事業の説明が行われ、その後に意見交換が行われました。今後の会議開催については、東京に統一していましたが、今後は各団体の判断によって柔軟に対応できるように取り決めを行いました。また、大久保会長からの提案により、改めて会議の名称を「全国青年友好4団体トップ会議」に統一する事が確認されました。

■ 参加団体 ■

全国中小企業青年中央会
会長 大久保 高 明
全国商工会青年部連合会
会長 石倉 大 裕
日本商工会議所青年部連合会
会長 吉川 正 明
公益社団法人日本青年会議所
会頭 野 並 晃

